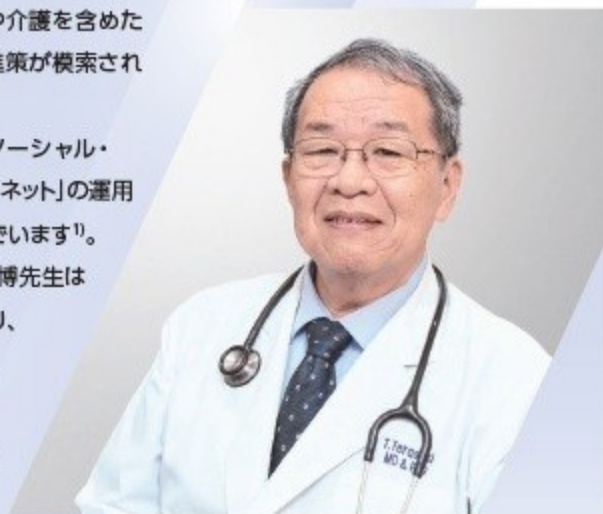


医療介護専用SNSを利用した 「奈良あんしんネット」の活用で COVID-19診療における 多職種連携を促進

取材日：2025年7月24日 会場：奈良県奈良市 寺崎クリニック

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行は医療や介護を含めた多職種連携の重要性を浮き彫りにし、各自治体でその促進策が模索されています。

奈良市と大和郡山市の医師会は既存の医療介護専用ソーシャル・ネットワークング・サービス（SNS）を利用した「奈良あんしんネット」の運用を2017年から開始し、現在も多職種連携の促進に取り組んでいます¹⁾。その牽引役のひとりでもある寺崎クリニック院長の寺崎豊博先生は「COVID-19への迅速な対応には多職種連携が必須であり、今後ますます重要性は増していく」と考えておられます。本コンテンツでは、「奈良あんしんネット」を活用したCOVID-19診療における多職種連携と、診療内容の実際、今後の展望について紹介します。



医療法人 寺崎クリニック 院長
寺崎 豊博先生